

# 同 志 社 大 学

## 2015 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016年2月15日提出

所 属	職 名	氏 名
政策学部	教授	中川 清
研 究 題 目	生活保障と生活支援の相補関係—社会政策と社会福祉の再構築—	
研 究 成 果 の 概 要	<p>前年度に引き続き、社会政策と社会福祉の関係を生活保障と生活支援として再構築することを目指した。</p> <p>とりわけ今年度は、相補関係の課題と可能性を、ミクロの社会福祉の側から、地域包括ケアシステムと生活困窮者自立支援の検討をとおして、生活支援の具体的な現場から探る作業を行った。このような作業の前提には、マクロの生活保障の制度化が、現在、ほぼ飽和状態に達してしまっているという認識がある。</p> <p>ミクロの生活支援は、当事者の問題状況からのアプローチを特徴とするが、生活支援の現場では、当事者が自らの生き方を受け止め組織できるような自律的な条件の整備がどのように展開されつつあるのかを明らかにした。</p> <p>この点に関する考察として、次の論稿を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「21世紀の生活政策に関する覚書—マクロの生活保障からミクロの生活支援へ—」『総合政策科学の最前線』晃洋書房、2016年3月刊行予定。</li></ul>	